

一般かかりつけ医が神経症状に接した時の 診療の進め方

かかりつけ医の先生方が神経系の訴えに接する機会はかなり多いのではと推測される。それには理由があり、神経系に生じたことをヒトは自覚できるので、他器官系の障害よりも神経系の障害は主訴となりやすいという特徴を有するためである。代表的な神経系の主訴・症状としては、頭痛、めまい、手足のしびれ・脱力、物忘れ、呂律が回らない、意識消失発作（倒れた、気を失った）、意識障害などが挙げられる。これらそれぞれについて、かかりつけ医の先生方にどのように対処いただくのがよいかを、病歴、神経診察の両面から解説する。（園生）

【講師】 **園生 雅弘** 氏

（帝京大学医学部附属病院 視能矯正学科 教授）



【日時】 **9月24日（水）**

19:45～21:30

【会場】 協会セミナールーム
および Zoom

【定員】 会場 50人
Zoom 95人（先着順）

【参加費】 無料（会員限定）

【申込み】 下記に必要事項を記入のうえ、FAXでお送りください。ホームページからお申し込みいただけます。



※ Zoom参加希望の方は、協会ホームページからお申し込みください！ →
本状による申込みはセミナールームでの参加となります。



【9/24 神経内科研究会 **会場** 参加申込書】 >>> FAX: 03-5339-3449

会員名				医療機関名		
参加人数	人	TEL		FAX		

【主催・問合せ】 東京保険医協会 研究部

〒160-0023 新宿区西新宿 3-2-7 KDX 新宿ビル4階 / TEL: 03-5339-3601